

## CS+対応RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4 V1.04.00へのリビジョンアップのお知らせ

CS+対応RXファミリ用リアルタイムOS RI600V4をV1.03.00からV1.04.00にリビジョン アップしました。

お知らせ: 統合開発環境「CubeSuite+」は製品名を「CS+」に変更しました。

### 1. リビジョンアップ内容

#### 1.1 リアルタイムOS共通プラグインの更新

V2.00.01からV3.00.00に更新しました。

V3.00.00では、RTOSビルド設定機能、RTOSリソース情報表示機能、RTOSタスク・アナライザ機能において、統合開発環境CS+ V3.00.00をサポートしました。

#### 1.2 リアルタイムOS RI600V4プラグイン (RI600V4用)の更新

V2.01.00からV3.00.00に更新しました。

RI600V4用のRTOSビルド設定機能、RTOSリソース情報表示機能、RTOSタスク・アナライザ機能において、統合開発環境CS+ V3.00.00をサポートしました。

#### 1.3 統合開発環境 e2 studioのサポート

統合開発環境 e2 studio V3.1.0.24 をサポートしました。

#### 1.4 サービス・コール呼び出し方法の変更

統合開発環境 e2 studio 対応にともない、テーブル生成ユーティリティを廃止したため、サービス・コールの呼び出し方法をテーブルジャンプから、通常関数コールに変更しました。ただし、この変更によるユーザ・プログラムへの影響はありません。

#### 1.5 注意事項の改修

RENESAS TOOL NEWSでアナウンスした以下の注意事項を改修しました。

- コンパイル時に出力されるメッセージに関する注意事項

注意事項の詳細は以下のURLでRENESAS TOOL NEWS 資料番号 131101/tn2を参照

ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=131101tn2>

## 2. アップデートに関する注意事項

リアルタイムOSプラグラインをV3.00.00へアップデートする場合は、リアルタイムOSもCS+対応のインストーラでインストールしてください。

## 3. アップデートと購入方法

### 3.1 アップデート方法

RI600V4をお持ちの場合、無償でオンラインアップデートできます。  
(10月1日からサービス開始予定)

Windowsのスタートメニューから、プログラム -> Renesas Electronics CS+ を選択して、アップデートマネージャを起動してアップデートしてください。

### 3.2 新規購入

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。価格についても同様にお問い合わせください。

製品名: RI600V4

発注型名: R0R5RX00TCW01w (注)

注: 発注型名のw (小文字のダブルリュ) は、以下の契約形態を示す記号と置き換えてください。

例えば、本OSを組み込んだ製品を無制限に量産する場合で、かつソースコードが不要な場合の発注型名は R0R5RX00TCW01Uです。

#### 記号 契約形態

- 1 評価ライセンス、インストール可能なホストコンピュータは1台
- A 評価ライセンス、インストール可能なホストコンピュータは無制限
- K 量産ライセンス、組み込み数3000台まで、ソースコードなし
- U 量産ライセンス、組み込み数無制限、ソースコードなし
- Z 量産ライセンス、組み込み数無制限、ソースコード付き

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

